

## 第21回議員と語ろう会 開催レポート

令和6年6月1日(土)、昼の部と夜の部に分けて議員と語ろう会を開催しました。昼の部は13時30分から15時まで、本荘小学校、坪江公民館、北潟小学校、細呂木公民館で開催しました。また、夜の部は19時から20時30分まで、伊井小学校、湯のまち公民館、中央公民館で開催しました。

当日は、合計47人の市民にご参加いただき、各会場において多くの貴重なご意見をいただきました。皆様のご意見は委員会や一般質問で取り上げるなど真摯に受け止めます。

以下、各会場でいただいた主なご意見を掲載いたします。

---

### 【本荘小学校】

- ・公共施設のバリアフリー推進のひとつとして、階段の段差にカラーテープを貼るなど、高齢者や視覚障害者（白内障を含む）の転倒リスクを軽減してほしい。
- ・車の運転が出来ない高齢者等には、デマンドタクシーでの移動が日常生活上不可欠となっている。坂井市の病院やスーパーなどにも行ける広域的な制度に拡充してほしい。
- ・児童生徒にマスクを着用するメリットとデメリットを正確に伝えてほしい。
- ・市民文化会館に代わる文化芸能の発表や鑑賞ができる施設がほしい。
- ・米の価格補償や助成を進めてほしい。
- ・市の発展のために商業施設を誘致すべきではないか。
- ・災害によって集落センターや神社、墓地などに被害が出た場合は維持ができないため、公的支援を考えてほしい。
- ・地域づくりのために、みんなで話し合う機会を作ってはどうか。
- ・芦原温泉駅前の竹田川周辺整備のように、本荘地区の竹田川利活用も考えてほしい。
- ・民生委員と地域が繋がりを持ち、顔の見える関係性をつくるべきではないか。

### 【坪江公民館】

- ・黒谷川沿いで「田んぼダム」を行う場合は、水稻等に被害が及んだ場合の補償まで考えてやるべきではないか。また、田んぼの所有者の理解も必要であり、行政が所有者に説明を行ってから事業を始めてもらいたい。
- ・農地転用で企業誘致するなど、若い人が希望を持てるまちづくりができないか。
- ・国道8号線の用地先行取得状況はどうなっているのか。
- ・今後働く人が高齢化し、人口も減っていくが、財政維持のための将来的な計画はあるのか。
- ・若い人の意見を聞いて、若い人が外に出て行かないための魅力ある街づくりを考えられないか。

## 【北潟小学校】

- ・あわら市全体で観光推進をしていくべきでは。
- ・多様化する観光客のニーズと観光資源をリンクさせる取り組みが必要ではないか。
- ・旅館客のニーズに合わせた仕掛けづくりが必要ではないか。
- ・地区公民館をコミュニティセンター化してほしい。
- ・新幹線開業にあわせ、関東からの修学旅行客のPR強化が必要ではないか。
- ・インバウンド客のニーズに対応していく必要がある。
- ・芦原青年の家、あわら病院、福井工業大学あわらキャンパスを避難所に追加してほしい。
- ・防災資機材庫の備蓄内容を周知してほしい。
- ・避難所の鍵の所有者が誰なのかを区民に周知してほしい。
- ・地震や津波などの災害に対する講習会を実施してほしい。
- ・地域の祭りを活性化するため、県外転出者に周知してほしい。
- ・新規就農者には就農の際に補助金が支給されているが、農業を継承する農業者に補助金が支給されないため支援を検討してほしい。
- ・栽培した梨をふるさと納税として提供しているが、議会だよりなどで決算状況や使い道を掲載してもらえないか。

## 【細呂木公民館】

- ・公民館の非常出口表示電灯のバッテリー交換など、優先すべきものはすぐ対応してもらいたい。
- ・議会だよりを読んでも議員が何をしているか分からない。
- ・議会だよりでは紙面が限られているため、特集記事を組むなど工夫してはどうか。
- ・細呂木こども園の除雪について、道路から園まで除雪をしてほしい。
- ・こども園や小学校への登校（園）前に除雪を完了させてほしい。

## 【伊井小学校】

- ・議会を少しでも身近に感じてもらうためにも、YouTube 配信する場合は、議会が始まる前の風景から配信を開始してほしい。
- ・少子高齢化と移住定住対策は急務であるため、覚悟を決めて取り組んでほしい。
- ・出生率を上げるための検討を進めてほしい。
- ・SNSをもっと活用して、市民に情報を周知してほしい。
- ・議会モニター制度を導入すると良いのではないか。
- ・市の防災担当職員数の充実や、専門家から防災の知識を得る仕組みが必要ではないか。
- ・校下単位での地区社会福祉協議会（＝地区まちづくり協議会）が必要であり、その仕組みを活用して、地区に根ざした地区防災計画が必要ではないか。そのためには、地区への市

の予算や人的支援なども必要であり、公民館をコミュニティセンター化して、地区の防災・福祉などの課題へ自主的に取り組む拠点づくりをすべきではないか。

- ・指定一般避難所を担当する職員を固定化し、人事異動があっても、安定的な避難所の開閉や運営ができるように。
- ・議会において、防災を調査研究する特別委員会を設置すべきではないか。時代の要請に対応した特別委員会の設置が重要だ。
- ・地域づくりと地域防災を一体的に捉えた施策の推進が必要ではないか。
- ・農作物の被害のみならず、市民の日常生活でも危険を感じる事態となっているため、鳥獣害対策の更なる充実が必要では。
- ・老朽化した空き家が増加しているため、空き家対策の充実が必要では。
- ・アフレアで開催しているイベントの賑わいを駅前通りまで延ばしてはどうか。
- ・ゴミ分別について、プラスチックごみの量や処理方法などを報告してほしい。
- ・津波が発生したときの避難所がわからない。高齢者が多いため対策を。

## 【湯のまち公民館】

- ・あわら市が消滅可能性自治体に挙がったが、議会として何か考えているのか。
- ・農業施設の老朽化や農業者の高齢化によって生産力が落ちている。農業者と行政が協力できる体制をつくってほしい。
- ・温泉街の街並み整備のため、側溝や路面を補修してほしい。
- ・あわら市の学校給食はメニューが豊富で、給食が楽しいから学校に行く児童生徒もいる。無償化して給食の質が落ちるのであれば半額負担のままでもよい。
- ・少子化対策には何が重要か、議会としても考えてもらいたい。
- ・少子化対策は時間がかかるため、担当者の増員が必要ではないか。また、議会でも男女共同参画などの活動内容を精査してもらいたい。
- ・温泉地区区長会から提出している議員定数削減の要望に対して検討をしているのか。

## 【中央公民館】

- ・金津小学校から IKOSSA への道を通学時間にスピードを出して車が通るため、速度規制や時間帯通行をすることはできないか。
- ・夜間、IKOSSA 付近の歩道が暗いため街灯等を取り付けてほしい。
- ・人口規模当たりの議員数を坂井市と比較してもあわら市は多いため、議員定数を削減すべきではないか。